

国語科 学習の手引き（3年）

【教科のねらい】

「読むこと」「書くこと」「聞くこと」「話すこと」を通して自分の考えを伝えたり、相手や作者の心情を理解したりするための基礎を学びます。

国語を学ぶねらいは3つです。

- 1) ことばの仕組み・意味・働き，ことばの背景にある文化を理解する
- 2) 自分の考えを伝える「書くこと」「話すこと」，「読むこと」「聞くこと」を通して相手の考えを理解しようとする態度を養う
- 3) 漢字や慣用句，ことわざ，故事成語の学習を通してことばを吟味する力を養う。

【1年間の学習の流れ】

学年	第3学年	
月	○題材名・教材名	単元の到達目標
4	世界はうつくしいと握手	<ul style="list-style-type: none"> ・一語一語に着目し，作者の思いをとらえることができる。 ・詩の構造や表現技法を理解することができる。 ・登場人物の生き方から，人の生き方について考えることができる。 ・登場人物の言葉や動作から，人柄や心情を捉えることができる。
5	握手 学んで時にこれを習ふ 漢文の復習	<ul style="list-style-type: none"> ・一語一語に着目し，作者の思いをとらえることができる。 ・登場人物の生き方から，人の生き方について考えることができる。 ・登場人物の言葉や動作から，人柄や心情を捉えることができる。 ・漢文訓読の基礎について理解することができる。
6	熟語の読み方 漢字に親しもう1 作られた「物語」を超えて	<ul style="list-style-type: none"> ・熟語の読み方の種類を理解することができる。 ・説明的文章・評論文の特性や文章構成をおさえて読むことができる。
7	説得力のある構成を考えよう リオの伝説のスピーチ 漢字に親しもう2 すいかは幾つ必要？ 実用的な文章を読もう	<ul style="list-style-type: none"> ・相手や目的に応じて自分の体験や知識を再構成することができる。 ・文法の学習で得た知識や考え方を生かす方法について理解することができる。 ・情報発信の意義と注意点について捉えることができる。 ・書き手による文章の違いを理解し，正しい情報を見極めることができる。
8	俳句の可能性 俳句を味わう 言葉を選ぼう	<ul style="list-style-type: none"> ・俳句のおおよそを理解し，俳句に親しむことができる。 ・俳句のきまりを理解し，俳句を創作することができる。 ・相手や目的に応じて自分の体験や知識を再構成することができる。 ・ことばを吟味して書くことができる。
9	和語・漢語・外来語 挨拶 故郷 慣用句・ことわざ・故事成語 漢字に親しもう3	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの語種の特徴を理解することができる。 ・詩に表現されている内容と，現実の世界のあり方とを対応させて読むことができる。 ・隠喩法を理解しながら詩を「よむこと」ができる。 ・状況や時代背景を考えながら読み，人間と社会との関わりを考え，自分の意見を持つことができる。 ・情景や人物を描写する語句や表現に着目して読むことができる。 ・慣用句，ことわざ，故事成語の意味を理解し，日常生活で正しく使うことができる。
10	古今和歌集仮名序 君待つと 夏草	<ul style="list-style-type: none"> ・「仮名序」の音読を通して，言葉の響きや古典のリズム感を捉えることができる。 ・和歌のリズムを感じ取ることができる。 ・和花独特の表現法を捉えることができる。 ・現代語訳や脚注を参考にしながら，内容を捉えることができる。

10		<ul style="list-style-type: none"> ・語句の使い方や表現の工夫に注意して原文や俳句を詠むことができる。 ・作者のものの見方、感じ方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめることができる。
11	古典を心の中に 「批評」の言葉をためる 連歌の創作を通して	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの古典学習やこれからの古典との関わりについて、根拠を明確にして自分の考えをまとめることができる。 ・互いが創作した短歌について、的確な言葉を選びながら批評文を書くことができる。
12	書写（硬筆・毛筆） 初恋	<ul style="list-style-type: none"> ・筆脈を意識し、行書の特徴を捉えて文字を書くことができる。 ・七五調のリズムや文語の表現を味わいながら朗読することができる。
1	誰かの代わりに 私を束ねないで	<ul style="list-style-type: none"> ・論理の展開の仕方に表れた筆者の意図を踏まえて、筆者の主張を正しく捉えることができる。 ・作者の思いと自分の生き方とを重ね合わせ、自分なりの意見や感想を持つ。
2	総合的国語学習	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉や表現に着目し、文章を捉え、自分の考えを論理的に書くことができる。
3		

【評価の観点と場面】

観点	主な評価の観点
① 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の学習活動 ・準備物・提出物
② 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の学習活動
③ 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の学習活動 ・定期テスト、小テスト、作品制作

【予習・復習の仕方（学習の進め方）】

予習の仕方

- 1) 教科書の本文の漢字を読めるようにする。
- 2) 新しい語句の意味を調べ、ノートに書く。（ワークの活用も可）
- 3) 疑問点をはっきりさせて、授業を受ける。

復習の仕方

- 1) 音読練習を繰り返す。
- 2) 漢字の書き取り練習をする。
- 3) 学習したことを踏まえて自分の感想や考えをまとめる。
- 4) ワークブックで学習内容のまとめをする。

【授業を受けるときのポイント】

授業を受ける時のポイント

- 1) **発言しよう** 最初は分からないのが当たり前です。間違ってもかまいません。むしろ間違ったことが確認できれば次につながります。
- 2) **漢字ノートを活用しよう** 新出漢字でなくても書けない漢字をノートに入れていきましょう。
- 3) **書いてみよう** 自分の考えや感想、疑問点をノートに書き加えましょう。

【使用教材・補助教材】

教科書	国語3（東京書籍）
補助教材	『国語の学習3（ワークブック）』（明治図書） 国語資料集
その他	ノート1冊 国語辞典